

Murata Report

2016

Corporate Report
CSR Report



Innovator in Electronics

ムラタが作っている電子部品のことを、多くの人は知りません。PC、スマートフォン、家電製品、カーエレクトロニクス…。私たちの日常を支える様々な電子機器のなかで、ムラタの電子部品は活躍しています。さらに今、ムラタの電子部品は、ヘルスケアや、エネルギーなど、多くの新しい分野で活躍の場を広げています。

Innovator in Electronics

電子部品は、変わり続けています。ムラタもまた、変わり続けたいと思います。時代の動きを受け止め、まっすぐにお客様を見つめ、現場でのモノづくりに誇りを持ち、たえず新しい課題にチャレンジする、エネルギーに満ちた改革者 (Innovator) であり続けたいと思います。変わらない信念を持って、大胆に変わっていく。ムラタはどんな時代にもイノベーターであり続けます。

Contents

Corporate report

- 03 Innovator in Electronics
Contents
- 04 Message from the President
- 06 Murata technologies
- 08 Target markets
- 10 Products by application
- 14 Financial highlights
- 16 Global network

CSR report

- 18 CSRコミットメント
- 20 CSR全般
- 22 事業とCSR
- 24 安全衛生、環境保全推進
- 26 従業員への責任と行動
- 28 コーポレートガバナンス
- 29 社会・地域への責任と行動
- 30 CSR活動における目標と実績
- 32 第三者からのご意見

Profile

- 33 国内外拠点一覧
- 34 役員一覧
株式の状況
大株主の状況

※本誌では村田製作所グループ全体をムラタと表記しています。



Murata Philosophy

変化を、チャンスに。
新たな成長過程に挑む。

社是

技術を練磨し
科学的管理を実践し
独自の製品を供給して
文化の発展に貢献し
信用の蓄積につとめ
会社の発展と
協力者の共栄をはかり
これをよるこび
感謝する人びとと
ともに運営する

「中期構想2018」そして「長期構想へ」

1944年の創業以来、ムラタは大きく成長し、2013年度に策定した中期構想の最終年度となる2015年度ではムラタの歴史において大きな節目となる売上高1兆円を達成しました。これはお客様をはじめ、さまざまなステークホルダーの皆様からのご支援、ご指導の賜物であり、深く感謝申し上げます。

先行きが不透明な世界経済ですが、エレクトロニクス社会は急速かつ確実に進化していきます。この変化はムラタにビジネスチャンスをもたらします。ムラタは新たに「中期構想2018」、さらに「長期構想」を策定し、エレクトロニクス社会の発展に貢献するための将来の成長への道を描いています。

新しい市場に、新しい価値を。

通信市場ではスマートフォンへの部品搭載数の増加、キャリアアグリケーション*の普及によりムラタの部品、モジュールのニーズが高まります。通信市場はムラタにとって今後も大きな柱となります。サプライチェーンマネジメントによる安定した供給体制、そして幅広い製品ラインアップにより、通信市場における新たな価値提供を目指します。

*通信速度を高めるために違う周波数を一度に使うサービス

また、クルマをはじめ、エネルギー、ヘルスケア・メディカルを注力市場とし、ムラタらしい価値を提供してまいります。新しいセンシング技術や通信技術のニーズが高まるIoT社会において、ムラタは重要なプレーヤーとして存在感を示してまいります。またモノづくり、技術開発、人材開発をはじめ事業基盤の強化に取り組んでまいります。

ムラタはこれからも成長し続けます。新たな成長過程においても常に「社是」が礎であることに変わりません。グローバルでムラタ社員の一人ひとりがムラタの経営理念である「社是」を理解し、お客様のため、社会のために存在する企業であり続けます。

代表取締役社長 **村田 恒夫**

Murata technologies

エレクトロニクスの未来を創造する

材料から製品までの一貫生産体制を構築しているムラタでは、材料技術、前工程技術、商品設計技術、後工程技術、分析・評価技術などの基盤技術を独自に開発、蓄積しています。また、外部とも積極的に協業し、将来を見越した技術や製品の開発により、新たな市場やイノベーションの創出を目指しています。



Where innovation begins

Perfected techniques

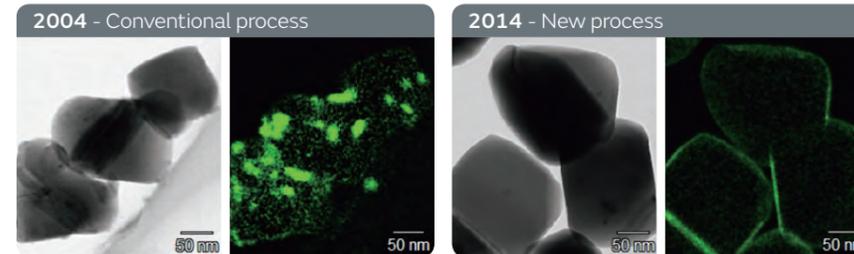
Shaping the future

Making innovation happen

Attending to detail

材料技術

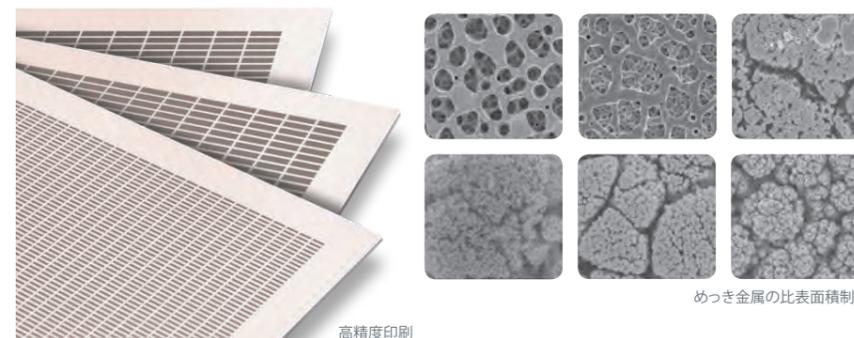
「よい電子機器はよい電子部品から、よい電子部品はよい材料から…」ムラタではこの考えをベースに求められる機能を常に材料にまで立ち返って、源流での管理、源流からの開発姿勢を貫くことで、優れた特性を持った機能性セラミック材料の創出を実現してきました。セラミック材料で培われた技術は、新しい機能を生み出す材料の開発に展開されています。



微量添加物の分散コントロール

前工程技術

設計された機能を最良の作り方で具体的に発現させるのが前工程技術です。電子部品の小型化、薄型化、高機能化において、前工程技術は重要な役割を果たしています。

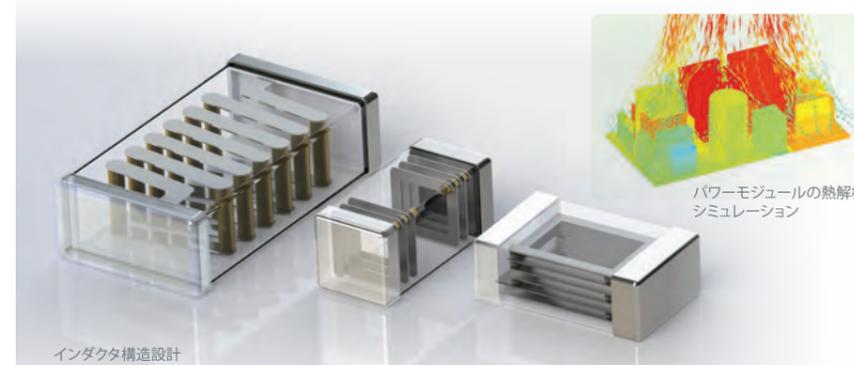


高精度印刷

めっき金属の比表面積制御

商品設計技術

単機能部品からモジュールへ、さらにトータルソリューション提案へと、ムラタからの提案は日々進化しています。お客様のご要望に迅速に対応し、未来を見据えた技術、商品の開発に取り組んでいます。

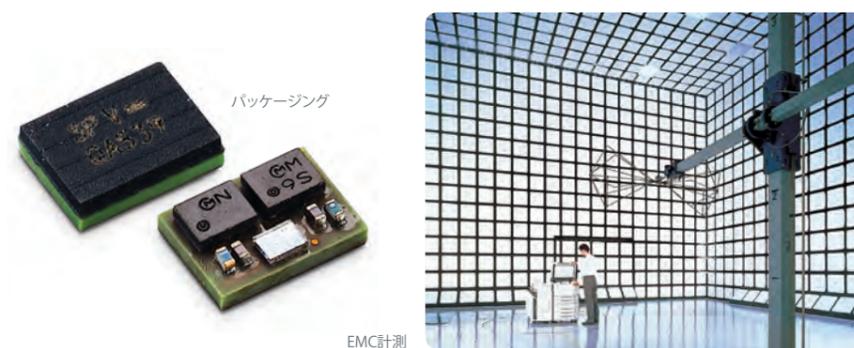


インダクタ構造設計

パワーモジュールの熱解析シミュレーション

後工程技術

自社設計の生産設備とモノづくりの専門知識により、製品を効率的、安定的に量産するための技術やノウハウを多く保有しています。

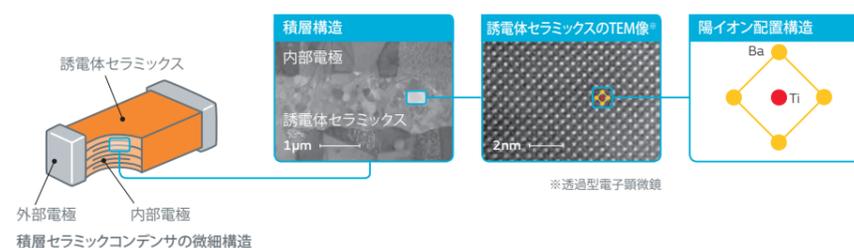


パッケージング

EMC計測

分析・評価技術

高度な故障解析システムとともに、材料の物性、電気特性、組成、構造の評価に科学的分析手法を効果的に用いることで、お客様にムラタの高い信頼性を提供しています。



外部電極 内部電極
積層セラミックコンデンサの微細構造

※透過型電子顕微鏡

Target markets

未来を創造する

異なる産業をつなぐデジタル化やIoT化によって、エレクトロニクスの領域が広がり、スマート社会への新たなニーズが生まれています。ムラタはこれまで培ったノウハウでセンシング、通信、小型化技術における新しい価値を創出します。

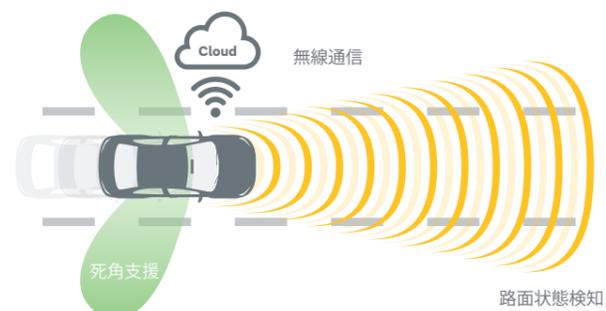
通信市場に加えてクルマ、エネルギー、ヘルスケア・メディカル市場において、独自の製品とソリューションを提供し安全、安心、快適な社会づくりに貢献します。



ムラタは安全で、健全で、より効率的な社会の発展に貢献します

安全走行

ドライバーと、道路と、クルマ同士で。近い将来、クルマは自動化され、あらゆるものがネットワークでつながります。ムラタの信頼性の高い部品やソリューションが、お客様へ安心をお届けします。



運転支援システムの発展は交通の安全性を高めます。ソフトウェア、センサなどさまざまな技術が含まれているこのシステムは、運転環境を検知し、ほかのクルマやサービスとネットワークでつながります。



スマートなヘルスケア

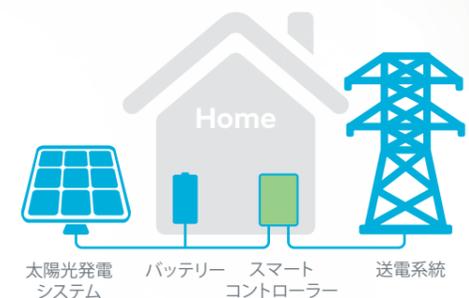
先進国における高齢化対応、新興国における医療サービスの広がりにより、今後ますます医療の高度化・効率化が求められます。ムラタは独自の技術を結集させ、新しい価値をお客様に提供することにより医療技術の進展に貢献します。患者様の負担を軽減する医療機器から医療IT分野に、小型・高信頼性製品でお客様のニーズに応えていきます。



リアルタイムで生体情報など患者情報をセンシング・通信することにより、効果的な予防・早期の治療を行うことが可能になります。さらには、病院だけでなく在宅・遠隔医療へも広がっていくことが見込まれます。

省エネルギー

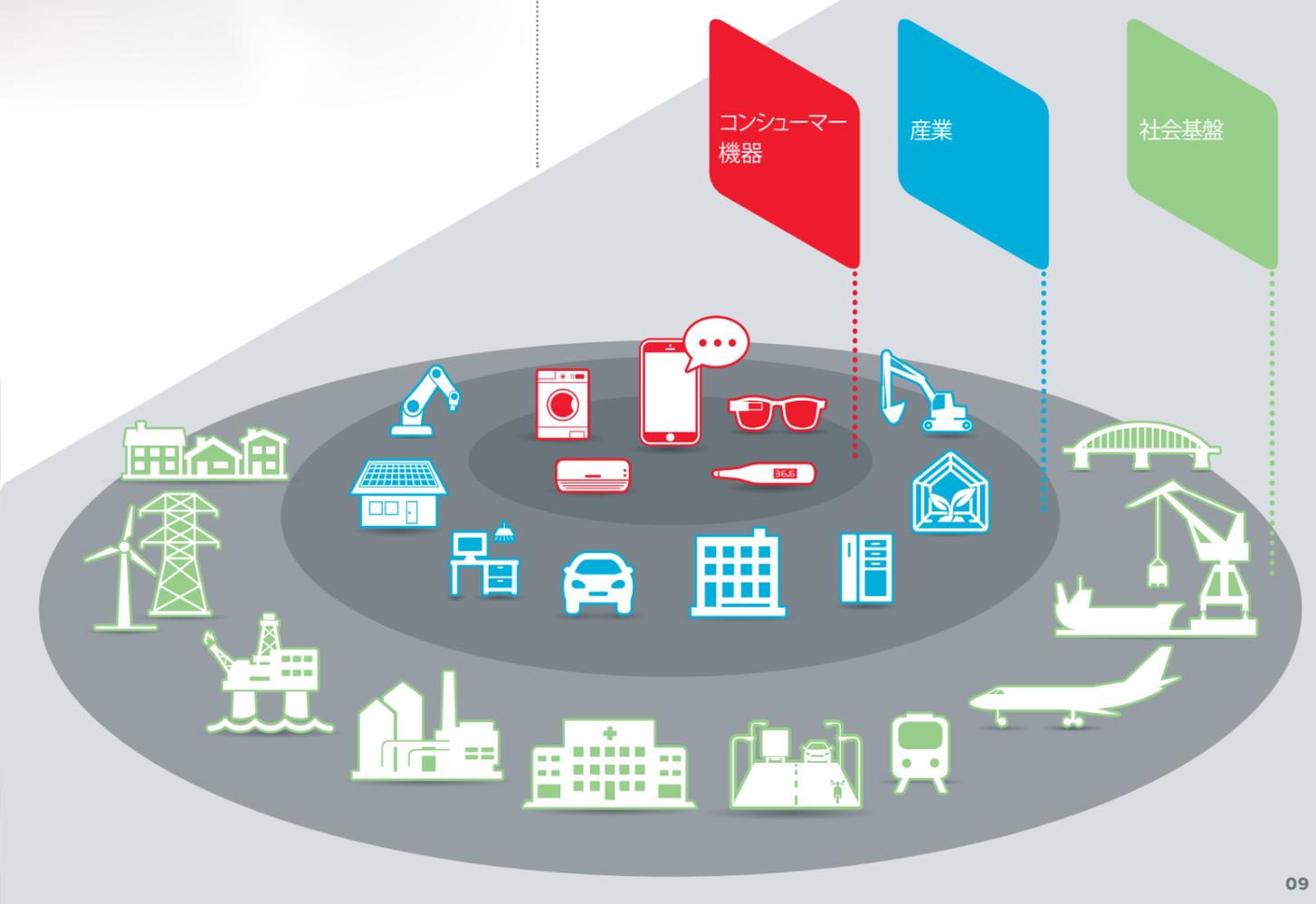
世界規模で再生可能エネルギーの活用が広がる中、「スマート」なセンシング・通信技術がエネルギーシステムの効率化に求められます。ムラタでは、部品の小型化やエネルギー変換効率の高いモジュールの開発、消費電力を見える化するマネジメントシステムなど、通信・センシング技術で省エネルギー化に貢献します。



スマートな家庭エネルギー管理システムで状況に応じたエネルギーソースを自由に選び、全体のエネルギー消費量を最適化します。



エレクトロニクスの広がり —市場機会の増大—



Communications

[通信]

指先でつながる、世界と、未来と、安心と。

世界中の人々が手に取るスマートフォン。通信速度はさらに高速に、容量はさらに大きく。通信サービスの広がりにもなって、高機能化、多機能化がますます進んでいます。

高周波部品の小型化やモジュール化、機能や操作性を向上させるセンサ、低損失なコンデンサやパワーインダクタなどで、コミュニケーションの進化と普及に貢献します。

そこには、
もっとつながりたい
ムラタがいます



積層セラミックコンデンサ

電気を蓄えたり電気の流れを整える働きをし、電子回路には欠かせない部品です。スマートフォンをはじめとするモバイル機器、PCの小型・薄型化・高機能化にともない搭載数が増加しています。



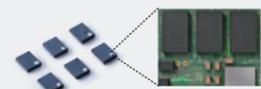
インダクタ (コイル)

電気を流すと磁界と作用し合って電流に影響を与える部品でコイルとも呼ばれています。無線回路や電源回路などで使用されています。



高周波同軸コネクタ

高周波信号を基板から基板へと伝達する同軸コネクタ。スマートフォンやタブレット端末、またウェアラブル端末など、より小型・低背で高機能な通信機器の発展に貢献しています。



【内部構造イメージ】

高周波モジュール

スマートフォンの複数周波数対応をサポート。周波数切り替え、フィルタリングの従来機能に、信号増幅 (PA) 機能を一体化。さらなる機能付加で、スマートフォンの薄型化、通信速度の高速化に貢献します。



表面波フィルタ

無線信号のなかから必要な信号だけを取り出すフィルタは高周波回路のキーデバイス。ムラタは独自の小型化技術で、回路設計の自由度向上に貢献しています。



パワーアンプモジュール

信号を増幅し電波を遠くまで届けるスマートフォンのキーデバイス。ムラタのPAはLTEや世界各国の周波数に対応し、スマートフォンの高機能化に貢献しています。



接続性モジュール

無線通信によってさまざまな機器からインターネットにアクセスするための複合部品です。スマートフォン、車載機器の多機能化やIoTの流れをリードしています。

※各ページの世界シェアは業界全体での世界シェアであり、アプリケーション別の世界シェアではありません。また世界シェアは当社推定値です。市場や用途により異なります。



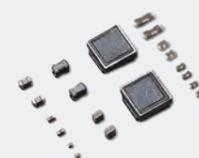
低ESL積層セラミックコンデンサ

MPUIに供給する電力を安定化させる小型大容量コンデンサで、モバイルPCの小型、薄型化に貢献します。



ショックセンサ

圧電セラミックスを応用して、加速度や振動を電気信号に変換する電子部品です。主にHDDで、外部からの衝撃による書き込みを防止するためのセンサとして使用されています。



チップEMI除去フィルタ (エミフィル®)

電子機器から発生するノイズを除去するための部品で、電子機器の誤動作防止に役立っています。電子機器の小型化・多機能化・高周波化に伴い複雑化する電磁波ノイズの対策や改善に貢献しています。



「簡単」を実現する、
簡単じゃない技術を
ムラタから

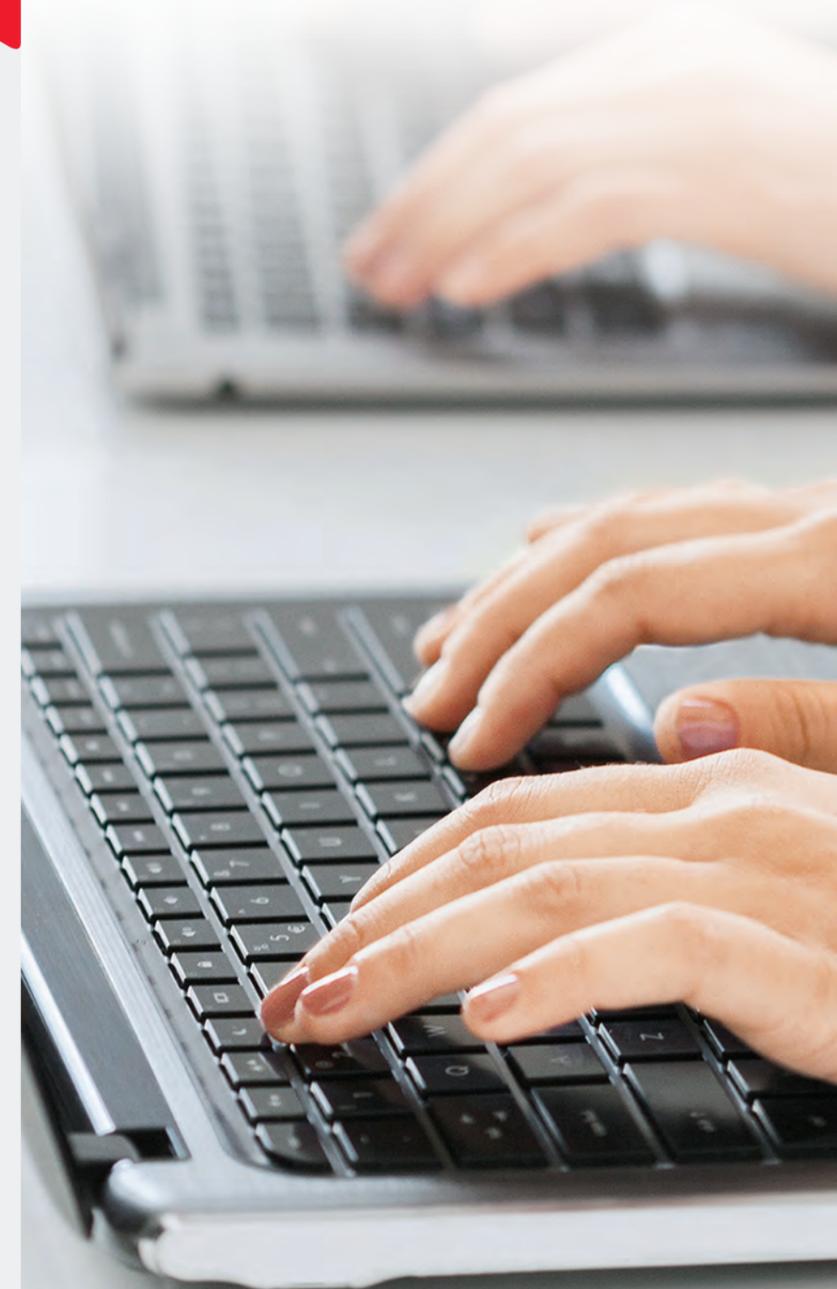
Computers

[コンピュータ]

いつでも、どこでも、コンピューティング。

手軽に持ち運べて簡単につながる薄型ノートパソコンやタブレット端末は、今や生活に欠かせないもののひとつ。

ムラタは、電子部品の小型・薄型化技術、高密度実装技術、センシング技術で、PCの高機能化、高機能化に貢献。低消費電力のコネクティビティを提供する無線通信モジュールや快適な操作性を実現するセンサなどで、新時代のコンピューティングをサポートしています。



Automotive electronics

[カーエレクトロニクス]

地球にとって、人にとって、
クルマの技術はこれからももっと。

より安全に快適に移動できる乗り物であること、環境問題に対応していること、ドライブを楽しむエンターテインメントを持ち合わせていること。

次世代に向けてクルマのインテリジェント化・電子制御化が進んでいます。

ムラタの電子部品は、安全装備、運転支援、パワートレイン、情報通信など、あらゆる分野で、過酷な使用条件に耐える高い信頼性を実現すべく、クルマとともに進化しています。

だから、ムラタには、
まだまだやることが
いっぱい



ジャイロコンポセンサ

加速度変化や重力変化を静電容量変化としてとらえ、加速度値や傾斜角度を検出することができます。車体の横滑り防止装置(ESC)やアンチロック・ブレーキシステム(ABS)など、クルマの基本性能に関わる部分に使用されています。



超音波センサ

圧電セラミックスを振動させることで発生する超音波の反射時間で距離を測定するセンサです。駐車支援システムのバックソナーに使用されています。



DC-DCコンバータ

ムラタ独自の制御回路とシートトランスを用いた薄型・軽量のDC-DCコンバータです。絶縁が必要な各ブロック(低圧バッテリー入力回路部・高圧バッテリー入力回路部・AC商用電圧入力回路部)間の回路部への電圧供給が可能になります。



積層セラミックコンデンサ

セラミックスの耐熱特性を生かした高信頼性コンデンサは過酷な使用環境下でも性能を発揮します。ECU、駆動制御、セーフティー機器などの高信頼性を求められる用途はもちろん、オーディオやナビゲーションなどのインフォテインメント用にも広く使用されています。



パワーインダクタ

自動車の電子制御システム化がすすんでいます。その中で電力を効率よく伝達させたり、電子機器から発生するノイズを抑制します。



セラミック発振子 (セラロック®)

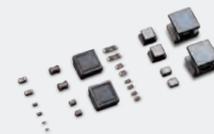
タイミングデバイス

ICと組み合わせてクロック信号を作り出す部品です。自動車の電装化がすすむと、ECU同士の通信が必要となり、そこには高精度、高品質なクロック信号を作り出すタイミングデバイスが求められます。

水晶振動子



※各ページの世界シェアは業界全体での世界シェアであり、アプリケーション別の世界シェアではありません。また世界シェアは当社推定値です。市場や用途により異なります。



チップEMI除去フィルタ (エミフィル®)

AV機器/家電のデジタル化が進んでおり、機器内部を流れている高速なクロック信号が時に電磁ノイズとして機器に悪影響を与えることがあります。ノイズによる誤動作などを防止し、同時にAV機器の高画質・高音質に貢献しています。



サーミスタ

電圧・電流の変化により抵抗が変化し回路の過熱や充電を監視する部品です。IC、電源回路、バッテリーなどの中で過熱や過大電流から回路を保護することに役立っています。



イオナイザ/オゾナイザ (イオニシモ®)

空気分子をイオン化(プラスやマイナス電荷を付与)するデバイスです。空気をイオン化し機能性を持たせることで、消臭、除菌、防カビ、抗ウィルス、除電、帯電などの効果が得られます。



導電性高分子アルミ電解コンデンサ

低背/低ESRを特徴とした大容量コンデンサです。シビアな電圧制御が要求される回路の電圧安定化を担い、AV機器の高機能化に貢献します。

賢くて、
経済的なのが、
おしゃれです

Audio and visual / Home appliances

[AV/家電]

家の中には、家族とムラタがいます。

好きな番組を覚えていてくれるテレビ。人のいるところだけ涼しくしてくれたり、空気にマイナスイオンを与えてくれたりするエアコン。

センサやイオナイザモジュール、変換効率の高い電源モジュールが、スマートでエコな、新しい暮らしを支えています。



Financial highlights

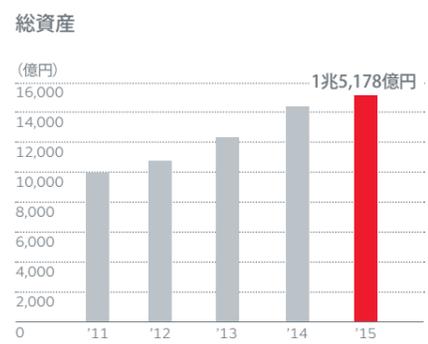
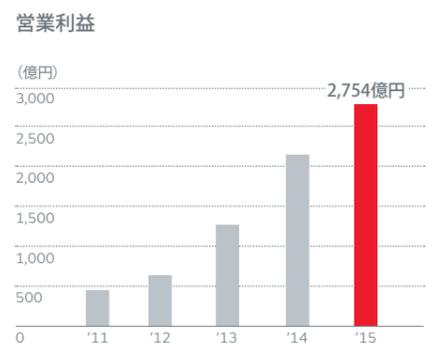
「つながる」技術で社会の進化を加速。

小型・薄型、高性能、高信頼性の電子部品は、ますます成長しています。

現在、世界中の携帯電話の80%を占めるスマートフォン。マルチバンド対応のLTE端末の普及で、今後も一層の高機能化、多機能化が見込まれています。カーエレクトロニクス分野では電装化がさらに進展するとともに、横滑り防止装置をはじめとする安全機能の向上、インフォテインメントなど車載通信の成長が見込まれます。

電子部品に対する需要は、さらに小型・薄型、高性能、高信頼性へと進んでいきます。ムラタは新商品の投入と立ち上げを加速し、主力製品である積層セラミックコンデンサや圧電製品、その他コンポーネント製品に加え、部品内蔵技術と多層プロセス技術で集積化した通信モジュール製品をさらに大きく伸ばしています。

売上高 1兆2,108億円
営業利益 2,754億円
当期純利益 2,038億円
総資産 1兆5,178億円



製品別売上

モジュールや小型高性能なコンポーネント部品。社会を“つなげる”製品が大きく成長しています。

コンデンサ

スマートフォンなどの通信機器向けには超小型品や小型大容量のコンデンサが、カーエレクトロニクス分野では自動車の電装化の進展で高信頼性のコンデンサがさらに需要を伸ばしています。

圧電製品

スマートフォンのマルチバンド化にともない表面波フィルタが大幅に伸長。自動車の運転支援用途では超音波センサに対する需要が増えています。

その他コンポーネント

高周波コイルやコネクタがスマートフォン向けに増加。EMI除去フィルタは、カーエレクトロニクスやスマートフォン市場で好調。カーエレクトロニクスでは、横滑り防止装置(ESC)に使われるMEMSセンサも伸びています。子会社化した東光株式会社とのシナジー効果により、メタルコイルの売上も増加傾向です。

通信モジュール

スマートフォンの通信速度の高速化、多機能化、マルチバンド化で端末1台当たりの部品点数が増加しています。RF部の占有面積の削減などを目的に複数の部品をまとめたモジュール化の動きが進んでおり、高周波モジュールやコネクティビティモジュールが大幅に増加しています。

電源他モジュール

サーバーやカーエレクトロニクス向けに増加しています。

用途別売上

便利・快適・安心に貢献する幅広い製品群。通信やカーエレクトロニクス市場で好調です。

通信

世界中でLTEスマートフォンの普及が拡大しており、超小型・小型大容量のハイエンドなコンデンサ、表面波フィルタ、高周波チップコイル、コネクタといったコンポーネント部品や、高周波モジュール、コネクティビティモジュールといったモジュール部品など幅広い製品で需要が増加しています。

コンピュータおよび関連機器

タブレット端末はスマートフォンの大画面化の影響を受け、低調に推移したものの、ノートPC、デスクトップPC向けの需要は堅調に推移しています。

カーエレクトロニクス

自動車の電装化が進み、高信頼性の自動車用コンデンサや横滑り防止装置用のMEMSセンサ、運転支援向けの超音波センサなどが増えており、自動車向けの電子部品の需要は販売台数の伸び率以上の成長を示しています。

AV、家電・その他

携帯メディアプレーヤー向けのコネクティビティモジュールは低調に推移したものの、ゲーム機向けにコンデンサ、EMI除去フィルタが伸長しました。

新規アプリケーション

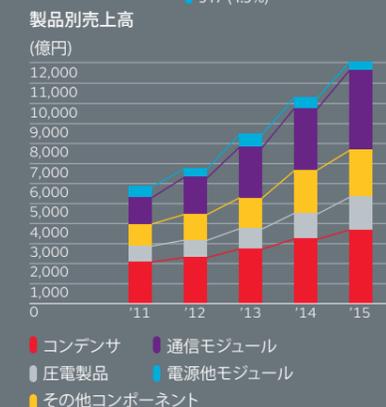
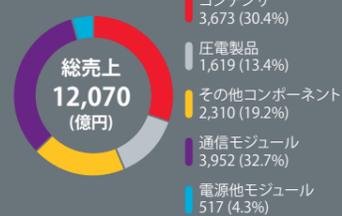
クルマ、エネルギー、ヘルスケア・メディカル…。

IoT社会を展望し、新しい市場への価値提案を、さらに進めていきます。

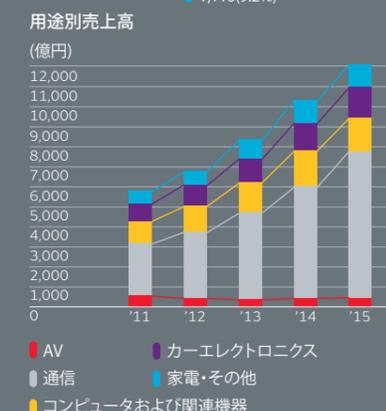
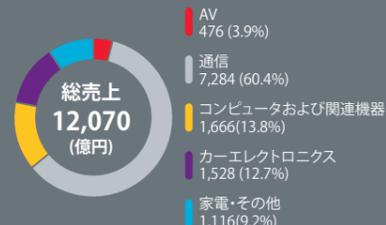
ムラタがいま、注力しようとしているのは、①電装化の進展や先進運転支援システムの普及、無線通信の拡大などで電子部品の需要が急拡大するクルマ市場、②効率的なエネルギー活用と省エネルギー社会の実現を目指して進むエネルギー市場、③健康を意識する世代の増加、医療技術のIT化や電子化で成長が見込まれるヘルスケア・メディカル市場です。さらに長期的な視点

では、あらゆるモノやコトがインターネットにつながるIoT社会の広がりが期待されています。これらの市場でムラタは、これまで培ってきたエレクトロニクスの技術(小型化・薄型化の実現、センサ、無線通信のコア技術)やノウハウを生かして新しい価値を提供することで変化を起こし、新しい社会、より良い社会の実現に向けて、これまでも増して貢献し続けていきます。

製品別売上高



用途別売上高



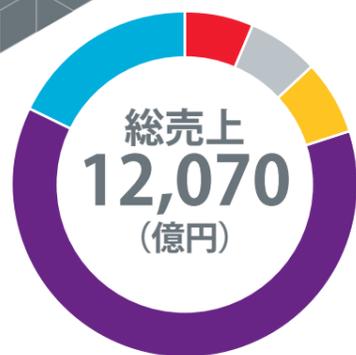
Global network

さまざまな地域で、102社。
世界のそれぞれの場所で、
ムラタらしく、新しく。

ムラタ製品の90%以上は海外で販売されています。日本、アジア、南北アメリカ、ヨーロッパ。

それぞれの拠点が、同じ方針のもとにお客様志向を貫くだけでなく、それぞれの地域の企業市民として愛され、信頼される存在であるように。

そしてまた、それぞれの拠点が同じムラタの仲間としてひとつの目的に向かって進んでいけるように。世界のムラタが、足並みを揃えています。



地域別売上高

- 日本 780 (6.5%)
- ヨーロッパ 819 (6.8%)
- 南北アメリカ 836 (6.9%)
- 中華圏 7,503 (62.1%)
- アジア・その他 2,132 (17.7%)

※地域別売上高、従業員数、関係会社数は2016年3月31日のものです。
※地域別売上高は、電子部品およびその関連製品の売上高です。

The Americas

売上高 **836億円**
従業員数 **946人**
関係会社 **11社**

PULLING TOGETHER AS A TEAM MULTIPLIES SUCCESS.

グローバルに広がるお客様のもと、絶えず変化するニーズにおいて、私たちは市場動向を的確に捉えそれに応じた戦略を常に適用することが求められています。お客様の声は私たちのイノベーションと独自性の原動力です。ムラタアメリカのビジネスディベロプメント、プロダクトマーケティングチームはデザイン・インを通じてお客様とともに成長していくことに努めます。

Murata Americas
Director
Business Development & Product Marketing
Geoff Brock



Europe

売上高 **819億円**
従業員数 **1,308人**
関係会社 **14社**

Success is when good preparation meets the right opportunity at the proper moment.

ムラタヨーロッパでは、グローバル企業や代理店、EMSにおけるデザイン・イン、新技術のコンセプト提案などさまざまな形でムラタのビジネスに貢献しています。さらなるビジネスの拡大に向けて、私たち一人ひとりが起業家マインドで、製品、プロセス、ビジネスモデル、組織を多角的に革新していきます。

Murata Europe
Manager
Strategic Marketing/Technology Marketing
Markus Huschens



Asia & others

売上高 **2,132億円**
従業員数 **14,940人**
関係会社 **17社**

Building A Global Home.

Murata Electronics Singapore (Pte.) Ltd.は工場、営業、物流機能を備えた拠点で、さまざまな国籍を持つ社員が働いています。私が所属している総務部は、社員が日々の業務を円滑に進められるよう、絶えず業務を改善し、作業の効率化を図っています。私たちはMurata Electronics Singapore (Pte.) Ltd.が社員の心のよりどころとなり、ムラタの発展に貢献できるようこれからも努力していきます。

Murata Electronics Singapore (Pte.) Ltd.
Assistant General Manager
General Administration Dept.
Tee Beng Hoe



Greater China

売上高 **7,503億円**
従業員数 **13,507人**
関係会社 **29社**

Orientating on customer, building our own for superior!

深圳村田科技有限公司では、急な需要変動とお客様からの要求にお応えするために、品質、コスト、納期のレベルを高めることが重要です。そのために、私たちはお客様のご期待を満足させる一段うえのモノづくりを目指し、日々挑戦しています。また、モノづくりの成長ストーリーを描き、優秀なメンバーとともにチームワークを大切に事業を運営しています。中華圏のビジネス拡大を通じて、エレクトロニクス社会の発展に貢献してまいります。

深圳村田科技有限公司
第2製造部
副部長
梁冠飛



Japan

売上高 **780億円**
従業員数 **23,973人**
関係会社 **31社**

高周波のムラタ

横浜事業所には各帯域の電波暗室があり、さまざまな製品の無線評価ができる環境が整備されています。昨今、通信量の拡大にともない、ミリ波を活用する動向が世界的に活発化してきています。ミリ波においても“イノベータ”であり続けるため、世界各国の拠点と連携して市場のニーズを先取りし、独自のコア技術を創出する取り組みが急務です。私達の製品は、より高度で利便性の高い未来のネットワーク社会の実現に貢献いたします。

株式会社村田製作所
通信・センサ事業本部 通信モジュール事業部
シニアマネージャー
水沼隆賢



CSR report 2016

ムラタが創業期から会社の理念として掲げる社是には「独自の製品を供給して文化の発展に貢献」という一節があります。私たちの製品を通じて、皆様の生活がより豊かに、より質の高いものとなりますよう貢献していきたいという強い想いが込められています。

たとえば、スマートフォンなどの通信機器は社会インフラといえるものになってきましたが、当社の商品群もスマートフォンの中で小型化、高性能化に寄与しています。また、これから普及が期待されるウェアラブル端末やIoT/IoEの分野は将来社会を大きく変革する可能性を秘めています。エレクトロニクスが活躍するフィールドはこれからも大きく広がり、自動車分野ではより安全に、より環境にやさしく、エネルギー分野では限られた資源や環境問題の解決に貢献し、ヘルスケア・メディカル分野では人々の健康と生活の質的向上を支えています。

このような事業を通じた社会への貢献に加えて、持続可能な社会を実現するためには、環境問題、人権問題など、解決すべき多くのグローバルな課題に向き合わなければなりません。たとえば、エレクトロニクス業界では紛争地域の鉱物資源問題の解決に向けて早くから関わってきました。ムラタは、これらの課題にサプライチェーンとも協働し、真摯に取り組んでいます。

また、当社はグローバルに事業を展開する企業として、性別や国籍など属性にとらわれない多様な人材が働く環境づくりに力を入れています。多様なバックグラウンドや価値観を尊重し、国内外の拠点で人材交流を行うとともに経営理念や目指す方向性をグローバルに共有し、社会に対して最良の価値を提供するためのさまざまな取り組みを行っています。

2015年には企業統治指針(コーポレートガバナンス・コード)が導入され、企業経営においてより高い透明性が求められています。ムラタも社是の精神に基づき、あらゆるビジネス倫理の遵守を含めた信用の蓄積に努め、ステークホルダーの方々と協働しながら社会的責任を果たしてまいります。

当社はCSR経営を推進するに当たって経営理念を基軸とする「CSR憲章」のもと、CSR統括委員会を組織しております。ムラタはこれからも「地域や社会に開かれた存在であり、信頼し尊敬される企業であり続けること」「お客様にムラタと一緒にビジネスをすることについて安心感を持っていただくこと」をめざして、CSR統括委員会の活動を通じ、社会の持続的発展に向けたCSR経営を継続的かつ計画的に推進してまいります。

代表取締役社長 CSR統括委員会 委員長 **村田 恒夫**

CSR憲章(概要)

ムラタでは、ムラタの経営理念をふまえて、法令の遵守はもとより、高い企業倫理観にもとづき、透明性の高いガバナンス、人権尊重、安全衛生、社会貢献、環境保全などに取り組むことにより、社会から信頼される企業であり続けることを目的として、当社に働くすべてのものが遵守すべき規範として「CSR憲章」を定めます。

企業統治

私たちは地域や社会に開かれた存在であり、信頼され尊敬される企業であり続けるために、説明責任を果たし、経営の効率化と透明性を高めていきます。

人権と労働

私たちは一人ひとりの人権を尊重し、尊厳を持って対応します。

安全衛生

私たちは安全で快適な職場環境を確保し、従業員の健康管理を行うことで、製品・サービスの質と従業員のモラル向上を図ります。

環境保全

私たちは企業活動の過程で生じる社会、環境、天然資源への悪影響を抑え、健康で安心して暮らせる社会の実現を目指します。

公正取引・倫理

私たちは社会的責任を果たし、社会から信頼される存在であるために倫理の最高の水準を目指します。

管理の仕組み

私たちはこのCSR憲章を遵守するための管理の仕組みを構築し、継続的な改善を図ります。

CSR関連委員会組織図



CSR憲章と、CSRに関連する方針類

- ・ CSR憲章
- ・ 企業倫理規範・行動指針
- ・ 人権・労働に関する基本方針
- ・ 労働安全衛生方針
- ・ 環境方針
- ・ 購買方針
- ・ 品質基本方針
- ・ ディスクローチャーポリシー
- ・ 社会・地域貢献活動基本方針
- ・ カルテル及び贈収賄防止に関するベーシックポリシー

報告対象範囲と情報開示体系

本レポートでは、ムラタのCSRとその取り組みを把握していただきやすくするため、要点を絞って報告・編集しています。詳細な情報や事例、各事業所別の環境データなどは、株式会社村田製作所のウェブサイトに掲載しています。なお、財務情報についての詳細は「投資家情報」をご覧ください。

報告対象期間

2015年4月1日～2016年3月31日

※一部、2015年3月以前、2016年4月以降の取り組みについても報告しています。

報告対象組織

村田製作所グループ(株式会社村田製作所及び国内外の関係会社102社)



株式会社村田製作所
代表取締役 副社長
藤田 能孝

社是の精神が導く
ムラタのCSR。

[CSRに関するメッセージ]

環境、社会、ガバナンス それぞれに責任と自覚を持って行動する。

持続的に会社を成長させていくためには、E (Environment=環境)、S (Social=社会)、G (Governance=企業統治)の3つの側面に配慮して事業を展開していく必要があると考えています。

環境――

モノづくりをする企業として、環境負荷の低減は大きなテーマです。温暖化対策のひとつCO₂排出量削減では、原単位削減目標を定めて、計画を上回る成果を出してきました。また、セラミックコンデンサの世界最小0.25×0.125サイズに示されるように、小型・薄型・多機能の電子部品の供給を通じて省資源化の実現に貢献しています。さらに新しい事業としてエネルギーの分野での取り組みにも着手しました。自社の環境負荷低減と、事業を通じた貢献の両軸で、環境対策を推進してまいります。

社会――

社会性に関しては、人材の多様性を確保することに注力しています。グローバルに事業を展開しており、世界中でさまざまな人が働いています。単に国籍や性別の問題ではなく、多様なバックグラウンド

をもつ人びとが、それぞれの個性や能力を十分に発揮して働けるような制度と風土を構築することが大切だと考えています。また、事業の上でも、たとえば自動車の安全性の向上やヘルスケアの利便性向上など、社会貢献度が高い分野への取り組みも強化して参ります。

ガバナンス――

ガバナンスについては、昨年、コーポレートガバナンスコードが策定されましたが、当社としてはこれを遵守するにとどまらず、組織と運営体制を不断に見直し、地域と社会に開かれた企業としての存在価値を高めていく所存です。

当社の社是は「これをよるこび感謝する人びととともに運営する」と結ばれています。ムラタはあらゆるステークホルダーとともにあります。これは、経済的価値の向上だけでなく、社会との共生を大切にす思想の表明です。当社のCSRの根底には、この思想があります。環境に配慮し、人材の多様性を活かし、組織の透明性を確保する、それらのアクションの大本にある社是の精神を実践してまいります。

[CSR中期目標の策定について]

CSRに関する中期目標を策定。 オールムラタで取り組みを推進。

CSR推進室、環境・安全部では環境や社会に対する取り組みなど、ムラタのCSR (企業の社会的責任) 活動を啓蒙、推進しています。2016年、ムラタは今後3年間の経営の方向性を示す中期構想2018を策定しましたが、環境や社会に関するCSRの分野についても新たな中期目標を策定。経営計画とあわせ、CSRに関しても、この中期目標をもとにさまざまな社会的要請に対応していきます。

環境の分野では、地球温暖化対策、省資源・資源循環、当社製品による環境貢献を重点テーマとし、従来からの環境負荷化学物質の削減や生物多様性保全、環境社会貢献活動についても継続して取り組んでいきます。特に、温暖化対策は企業に課せられた重要な課題です。積極的に対策を講じて温室効果ガスの増加を抑制していくことはもちろん、事業を通じた環境貢献を強化していきたいと考えています。また、貴重な資源として水への関心が世界的に高まってきています。効率的な利用を追求するとともに、湧水や洪水などのリスク評価や雨水排水管理の強化にも取り組んでいきます。

社会性の分野では、グローバル課題に対応したコンプライアンスの基盤、リスクマネジメントを強化していくことに加え、人権・労働に関する問題を未然に防ぐた

めにPDCAをまわすマネジメントシステムの仕組みを構築していきます。多様な人材が活躍するための職場環境づくりや、経営理念を浸透させていく活動も、欠かせない取り組みです。また、ムラタでは仕入先様などさまざまな協力会社の皆様と関わりながらビジネスを行っているため、サプライチェーンを通じCSRを浸透させる取り組みも強化していきます。

私たちはCSRに関するさまざまな活動を行う中で、国内外のムラタの関係部署と連携しながら、お客様、仕入先様、投資家の皆様、地域社会など、さまざまなステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを通じて、日々ムラタに寄せられる期待を感じています。これらの期待に応え、ムラタが地域や社会にとって欠かせない存在であり続けるために、私たちが先を見据えながら活動を進めていきたいと思ひます。

写真左より
株式会社村田製作所
管理グループ CSR推進室
関口 将幸
株式会社村田製作所
管理グループ 環境・安全部
中田 佳代
大塚 浩亮

ムラタに寄せられる
期待に、さらに
応えていくために。



[ベッドセンサ]

ヘルスケア領域の新たな扉を開く、 ベッドセンサソリューション。

社会の少子高齢化にともない、ひとに優しく良質で経済的な介護サービスを求める声が高まっています。また、医療/ヘルスケアの分野では、IoTやクラウドサービスの進展とも相まって、遠隔モニタリングなどの技術が普及し始めようとしています。ムラタはこのような市場のニーズに応えるため、非接触型生体モニタリングに新たな価値を提供するセンサソリューションの開発に取り組んでいます。

ベッドセンサは、ベッドに取り付けることで生体から生じるわずかな振動を捉えることができることから、ひとの身体に装着することなく生体情報を取得することを可能にします。ムラタの超高感度・低ノイズのMEMS*加速度センサとマイクロコントローラに組み込まれたアルゴリズムで、離床や在床、各

種生体情報を計測し、計測したデータは無線で送信することができるため、介護現場での負担軽減に貢献します。

ベッドセンサは、新たな事業領域に向けたムラタのイノベーションの一例です。ムラタは、独自の優れた特性を持つセンサを応用する新たな分野として医療/ヘルスケア市場に注目しました。入念な市場調査に基づいて研究を重ね、信号の処理機能やアルゴリズムの開発に取り組み、介護機器メーカー向けにセンサ回路、無線モジュールを提供しています。

「ベッドセンサの開発により、私たちはムラタが戦略上注力する医療/ヘルスケア市場での新たなビジネスを開拓しました。また、睡眠分析などの新たな用途への活用にも高い関心が寄せられており、これらのニーズに応える新しい付加機能を開発中です。」
(新規事業推進部 Sten Stockmann)

*Micro Electro Mechanical Systemsの略で、半導体プロセス技術を用いて形成した3次元微細構造を持つシステム。

グローバルな協力が 成功の鍵

ベッドセンサはフィンランドにあるMurata Electronics Oyから開発がスタートし、中国のMurata(China) Investment Co., Ltd.およびSyChip Electronic Technology(Shanghai) Ltd.、日本の小松村田製作所へとグローバルな協力体制で取り組みました。



上写真前列左より
Murata Electronics Oy
Toni Akkala, Sten Stockmann, 古寺 義孝, Rebecca Xu, Sami Nurmi, Ulf Meriheinä
後列左より
Joonas Makkonen, Pekka Kostainen, 福永 寛太, Kaisa Heiniö

下写真前列左より
SyChip Electronic Technology (Shanghai) Ltd.
王 康正、吴 世辉、藤川 高志、齐 日霞、吴 正龙
後列左より
李 晋、郑 伟、樊 煜、丸尾 幸則、周 津津

写真前列左より
株式会社小松村田製作所
西山 陽子、森中 舞、川原 伸子
後列左より
安田 誠、辰巳 尚登、鍋谷 定孝、村 英雄

ひとに優しい
ムラタの技術が、
医療/ヘルスケアの
進化に貢献します。

ムラタのベッドセンサは
非接触式での検知が
可能であり、利用者の
ストレスを軽減します。



SCA10Hセンサモジュール

センサとマイクロコントローラからなるSCA10Hセンサモジュールは、介護機器・設備メーカーが自社製品や病院のベッドに搭載できるよう設計されています。また、各種無線モジュールとの組み合わせにより最適なソリューションを提供します。



安全衛生、環境保全推進

安全衛生、労災削減



写真左より
株式会社村田製作所 野洲事業所 管理部 事務課 藤井 隆成
株式会社村田製作所 八日市事業所 管理部 事務課 白田 登司

安全体感学習による安全への意識向上

野洲事業所と八日市事業所では、派遣社員も含めたすべての従業員を対象に安全体感学習を実施しています。製造工程で発生する危険性のある「挟まれ」「巻き込まれ」「感電」や、一般事務業務でも発生する「重量物運搬時の腰痛」「ドアの指挟み」「カッターによる切創」などの疑似体験を通して、安全への意識を高めることを目的とするものです。

疑似体験を行うと、労災は他人事ではなく、いつ自分にも起きるかわからないと気付いてもらうことができます。安全体感学習によって机上学習だけでは難しかった安全意識の向上が図れています。

ムラタでは、労災発生防止のために、設備改善などハード的な取り組みと、安全衛生に関する教育や啓蒙活動などソフト的な取り組みをあわせて実施しています。ムラタの労災度数率は、製造業平均に比べて低い値ですが、さらに低くなるように取り組みを継続していきます。



※100万延実労働時間当たりの労働災害による死傷者数

地球温暖化防止

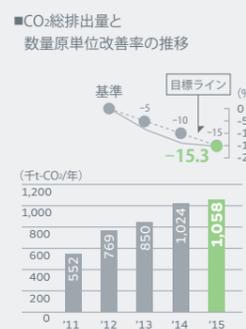
排熱の有効活用で温暖化防止に貢献

無錫村田製作所は積層セラミックコンデンサの製造工場であり、エネルギーの使用量も多く、CO₂排出量はムラタ内で上位に挙げられます。工場で運転しているユーティリティ設備、たとえば空調用の冷凍機や生産用のコンプレッサーなどは、長時間運転すると発熱するため水で冷却させる必要があります。冷却に用いられた水は数十度の温水になりますが、無錫村田製作所では、これまで捨てられていたこの温水の熱を有効活用することにより、工場で使用している蒸気の使用量を10%削減することができました。この取り組みによって削減できたCO₂の量は1,700 tで、一般家庭が年間排出する量に換算すると約340世帯分に相当します。今後も無駄を探し出し、改善の裾野を広げながら温暖化防止活動を推進していきます。



写真左より
無錫村田电子有限公司 管理部 環境管理科 薛 明生、王 旭峰、吴 蔚

ムラタでは、事業活動で排出される温室効果ガスの総量削減に向けて温暖化防止方針を掲げています。目標達成のため、温暖化防止特別委員会を中心にムラタグループ全体で活動を行っています。



省資源、廃棄物



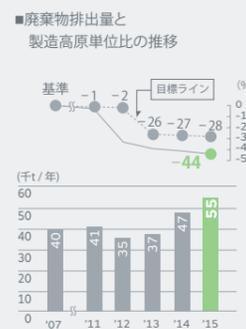
写真左より
株式会社氷見村田製作所 事務課 山下 義明
株式会社富山村田製作所 第2製造部技術1課 中村 利久
株式会社村田製作所 環境・安全部 環境安全推進課 川勝 康右

ひとつの活動がさまざまな効果を生み出す省資源活動へ

製造工程で使用している液体PFC*は地球温暖化の原因になりますが、これまで大半を揮発させていました。ムラタでは、従来から省資源の取り組みとして環境負荷の高い化学物質の削減を推進してきましたが、2014年度より、ムラタグループ横断の委員会を立ち上げ、PFC削減の取り組みを強化しました。試行錯誤の末、2015年度には、PFCを回収、再利用することができる装置を富山村田製作所、氷見村田製作所に導入しました。その結果、PFCの使用量を70%削減できました。液体PFCはCO₂の約6,000倍の温室効果があることから、CO₂排出量換算で8,000tに相当します。この取り組みは、省資源だけでなく、地球温暖化防止にも貢献することができる多面的な活動といえます。

※液体PFC：電子部品の洗浄などに用いられる炭素とフッ素を主構成元素とする液体化学物質

ムラタでは、2003年度にゼロエミッションを国内グループで達成しました。現在は、海外でのゼロエミッションと、廃棄物発生量そのものの削減に取り組んでいます。より安定確実に廃棄物を処理するため、廃棄物管理体制の強化を目指します。



水の削減

モノづくりの改善力を発揮して水の削減

製造工程では製品の洗浄などで多くの水を消費します。出雲村田製作所では、製造部門が中心となって、排水を再利用することができないか、さらに踏込んで水を使わずに製造できないか、さまざまなアプローチで改善を行い、年間約93,000tの水を削減することができました。また、この取り組みによって処理能力が逼迫していた水処理施設の増設も必要がなくなりました。日本では水が豊富と思われがちですが、利用できる水資源は限られています。貴重な水資源を汚染しないように公害防止を徹底することはもちろん、効率的な使い方を追求しなければなりません。今後も、モノづくりの現場の改善力を活かして、環境負荷の低減を推進していきます。



写真左より
株式会社岡山村田製作所 管理部 環境課 松谷 和洋
株式会社出雲村田製作所 第2製造部 生産技術課 福田 栄

ムラタでは事業活動で使用する水資源の削減、有効利用を推進しております。ムラタグループ内で情報の共有を図りながら各事業所で活動を行っています。



女性の活躍推進

育児経験を仕事に活かしながら、新しいステージにチャレンジする。

私は、法務部で契約書などの審査や、ときにはM&A案件のサポートなどを行ってきました。大学時代の専攻も法律でしたが、会社で法務を担当するようになって、法律をよりリアリティがあるものとして感じられるようになりました。

私は2回の産休と育休を経験し、今は短時間勤務制度を利用して働き続けています。育児経験を経たことによって、仕事への姿勢にもプラスの変化が生まれたと思います。退社時間から逆算して業務スケジュールを立てたり、案件の軽重や求められるスピードや質を見極め、いかに効果的に仕事を進めるかを強く意識するようになりました。子どもと向き合う経験の中で、ほかの部門の方にはなじみのなくとつきにくい法律の概念・考え方をいかにわかりやすく、噛み砕いて説明するかという意識も強くなったと思います。また育児では日々思い

がけないことに遭遇するためか、思いどおりにいかないことが多々あっても、耐性ができ、ジェットコースターに乗った気分での状況を楽しむことができるようになりました。

一方で、出産・育児によって以前と同じ仕事内容ややり方ができなくなることも事実です。たとえば、今の私には時差に関係なく飛び込んでくる案件に打ち返していくような最前線の仕事を担当することは難しいです。だからといって焦ったり落ち込むのではなく、「新しいステージに自分は立った」という発想の転換をすることが大事だと思っています。最近、私はこれまでの仕事に加えて新しくグローバルコンプライアンスの仕組みづくりの仕事を任されることになりました。国内外の拠点とやりとりしながら、会社にはない仕組みを新たに構築し定着させ、関係者の納得を得ながら進めていく仕事です。クリエイティブさが試される今までに経験したことのないものです。大変なこともありますが、この新しい仕事で自分ができること・やるべきこと・やりたいことは何かを考えながら、やりがいをもって取り組んでいます。

ムラタでは、私と同じようにお母さんになっても仕事を続ける人が増えています。私が今周囲から受けている職場や家族の温かい理解とサポートに感謝しながら、将来はそうした人々をサポートする側に立つことで恩返しをしたいと思っています。そして、この先さらに専門性を高めて、会社の成長を支えていける存在になりたいと思います。

ムラタグループの
国内事業所における
育児休職の取得率

100%
(復帰率:95%)

多様な人材が、自らの経験・特性を發揮することが期待される職場。

株式会社村田製作所
管理グループ 法務部
福井 粧子

世界の仲間と、ともに学び、
ともに成長する
グローバルローテーション。

グローバル・ローテーション

福井村田製作所で得た私自身の成長を、
フィリピンムラタの成長につなげていきたい。

私は、フィリピンの生産拠点であるPHILIPPINE MANUFACTURING CO. OF MURATA, INC. (以下、フィリピンムラタ)が設立されて間もない2012年に入社しました。そのときは、まだ工場もなく、従業員はわずか23人。それでも、入社時の面接で、ムラタはグローバルな企業であること、フィリピンムラタが積層セラミックコンデンサの大きな生産拠点になる計画であること、そして、ここで努力すれば自分自身を大きく成長させる可能性があることを知り、入社を決断しました。フィリピンムラタでは、設備のエンジニアの仕事をしていました。主な役割としては、設備の立ち上げやメンテナンス、生産の効率をアップさせるために改良することなどです。

私はいま、積層セラミックコンデンサのマザー工場である福井村田製作所に出向しています。ここでの仕事内容は量産安定化のための要素技術開発です。先輩とともに、現在の工程の状態を改良するためにさまざまな評価や分析を行っています。この仕事は、これまでフィリピンムラタで行ってきた設備に関する仕事とはまったく異なる分野であることから、毎日が勉強の連続です。コミュニケー

ションの面では、赴任前に日本語学校の研修などで勉強してきてはいるものの、専門用語が飛び交う会議ではなかなかついていけないこともしばしばです。しかし先輩や上司の方が、時には英語も交えながら、私の理解のレベルに合わせて丁寧に指導して下さいますし、私の成長を考えた仕事を多く経験させてくださるため、日々の成長が実感できるこの環境を楽しんでいます。また、仕事とは別に、私が講師となる有志の英会話教室を定期的に行っており、皆さんから好評を得ています。福井村田製作所では、もちろん私が教えてもらうことのほうが多いのですが、お互いに学びあって、私自身も周囲により刺激を与えられる存在でありたいと思います。

フィリピンムラタは、会社としての歴史も、従業員も、積層セラミックコンデンサの生産の経験もまだまだ若い会社です。フィリピンムラタに帰任後は、福井村田製作所で勉強させてもらったことを私がフィリピンムラタの若いエンジニアに伝えていく番です。福井村田製作所で得た知識と、ここで得たさまざまな人々とのつながりを、フィリピンムラタの仲間と共有し、ともに成長していきたいと考えています。

株式会社福井村田製作所
技術開発統括部
Jeffrey Leo Aguila

ムラタグループの
国内事業所における
海外事業所からの外国人
出向者在籍人数

45名
(2016年3月31日時点)

コーポレートガバナンスをさらに強化し、 ステークホルダーの期待に応える。

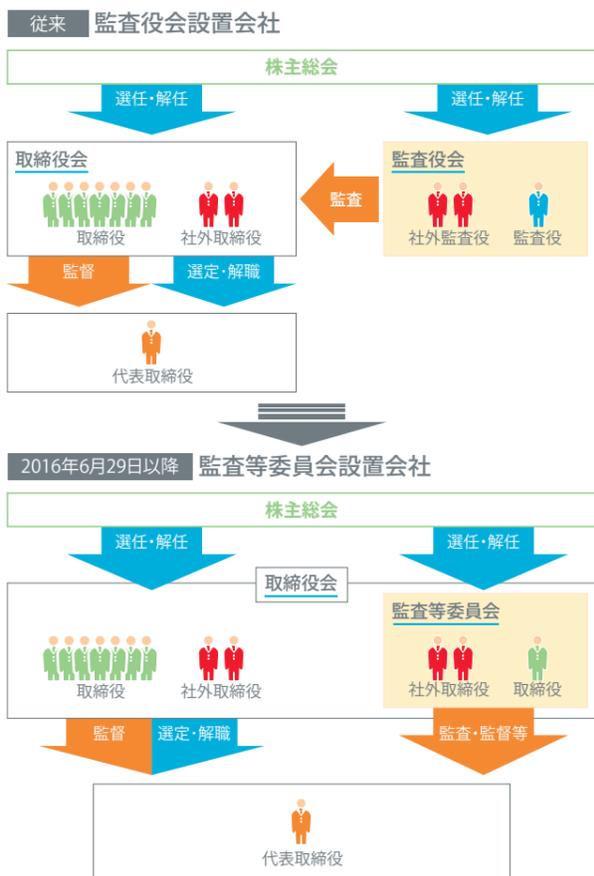
ムラタは、2016年6月に開催された定時株主総会をもって、従来の「監査役会設置会社」から「監査等委員会設置会社」に移行しました。

ムラタは従来から、コーポレートガバナンスを経営上の最も重要な課題のひとつと位置付け、すべてのステークホルダーに配慮しつつ、執行役員制度の導入による監督機能および業務執行機能の強化や、複数名の独立社外取締役の選任による経営の透明性の向上等、コーポレートガバナンスの強化に取り組んでまいりました。

この度、さらなるコーポレートガバナンスの強化並びに企業価値の向上を図るため、次のような目的を持ち、監査等委員会設置会社に移行しました。

- ①取締役12名のうち4名が独立社外取締役となり、取締役会全体における独立社外取締役の割合が増えました^{※1}。これにより、さらに外部からの視点の確保を強化し、経営の透明性を向上することが期待できます。
- ②監査等委員である取締役が取締役会における議決権等を持つことにより、業務執行者に対する監督機能を強化することが可能となります。
- ③定款の定めおよび取締役会の決議に従い、業務執行取締役への重要な業務執行の決定の委任を進めており、業容が拡大する中で、より迅速な経営判断、機動的な業務執行が可能となります。
- ④監査等委員会設置会社は、グローバルに理解を得られやすい体制です。ムラタはグローバルに事業展開しており^{※2}、また株式の外国人株主の保有比率も高く^{※3}、多くのステークホルダーの期待にも応えるものと考えます。

※1 2015年度は取締役9名のうち2名が独立社外取締役。
(独立社外取締役の割合 22.2%)
※2 海外売上比率 93.5% (2016年3月期通期実績より)
※3 外国法人等の株式保有割合 41.8% (2016年3月31日時点)



* 監査等委員会設置会社とは？
2015年5月1日施行の会社法等の改正で、社外取締役の機能を活用しやすい機関設計として新たに設けられた株式会社の機関設計です。監査役(会)を置かず、監査等委員会(3人以上の取締役から成り、かつ、その過半数を社外取締役とする)を設け、監査等委員会は監査を担うとともに、取締役の人事(指名・報酬)に関して株主総会における意見陳述権を有します。また、定款に定めを設けることで、個別の重要な業務執行の決定を業務執行取締役委任することも可能になります。

経営の透明性と
企業価値の
向上のために。



地域の方々とともに
森をつくり、守る。

未来の森、セイサク中。

「ムラタがそこにあることがその地域の誇りであり、歓びであるような企業でありたい」という社会・地域貢献活動基本方針のもと、各事業所で森林保全活動「ムラタの森」を推進しています。

本社は2007年度から、京都府の「京都モデルフォレスト運動」に参画し、京都府亀岡市で地元のみなさまと一緒に活動をしています。従業員とその家族が、ボランティアとして年間8回、延べ約500名が参加しています。活動は、間伐や下草刈りが中心で、間伐した木材はベンチ、階段、樹名板などに有効利用しています。また、自然に触れる機会が少ない子ども向けの樹木観察会や森林アクティビティ教室、地元の方々のご支援のもと田植え体験、そば打ち体験、薬膳料理教室なども行っています。

さらに2014年度からは、森林保全の重要性と私たちの活動をもっと多くの方に知っていただくために「ムラタの森手づくり市」を開催しています。手作りの販売や、採れたての地元野菜の即売会、木工教室、音楽演奏、森林保全活動のパネル展示など、森に興味のない方も気軽に足を運び楽しんでいただけるように工夫しています。ムラタの森を通して、森林、自然に興味を持ち、守っていききたいと思う方が1人でも増えてくださればと願っています。

2016年度は、活動を始めて10年目の節目の年になります。10年経ってもまだまだやることはたくさんあります。これからも活動を継続し、みんなでワクワクするような「未来の森」を「セイサク」していきます！

CSR活動における目標と実績

ムラタでは、重点取り組みテーマを設定し、各種施策を推進して継続的な改善に取り組んでいます。

■ 2015年度の環境目標に対する実績、および2016年度～2018年度中期目標と2016年度の目標

○:達成 △:ほぼ達成 ×:未達成

項目	2015年度目標	2015年度実績	評価	2016～2018年度中期目標	2016年度目標
【1】製品の環境配慮	環境配慮製品の拡充と環境配慮技術(工法)開発の継続	環境に配慮した設計・開発を目標設定し、環境配慮技術の開発に継続して取り組んだ。この結果、製品の小型化、省エネに貢献する環境配慮製品の拡充につながった。	○	重点取り組みテーマとしては設定しない。	
	製品に含有する環境負荷化学物質の削減・代替の遂行継続	製品に含有する環境負荷化学物質の削減・代替を計画通り遂行した。	○	重点取り組みテーマとしては設定しない。	
	環境配慮製品の拡充による低環境負荷社会への貢献	環境配慮製品の提案・認定取得・拡充の活動を展開した。多くのユーザーから認定が得られ、順次既存品からの置換が進んだ。	○	当社製品の使用段階におけるCO ₂ 排出削減貢献量の評価手法の確立	CO ₂ 排出削減貢献量算定ルール(案)の策定、試算
【2】温暖化対策	(1)生産拠点における取組み	生産拠点における品種別CO ₂ 排出量と数量原単位の把握 製造時におけるCO ₂ 排出量の数量原単位2012年度比15%削減	○	2018年度の温室効果ガス総排出量を120万tCO ₂ 以下に抑制	中期目標達成に向けた2016年度計画の設定、遂行
	(2)物流における取組み	(国内) 物流におけるCO ₂ 排出量の実質生産高単年度2007年度比60%削減	○	重点取り組みテーマとしては設定しない。	
【3】化学物質	(海外) 物流におけるCO ₂ 排出量の削減施策の実施	中華圏の海外拠点で、工場から空港までの搬送における積載率向上策により、トラック台数を3割削減した。	○	重点取り組みテーマとしては設定しない。	
	(国内) 工程での環境負荷化学物質使用量原単位2007年度比5%削減	(国内) 工程での環境負荷化学物質使用量原単位2007年度比46%削減となった。	○	重点取り組みテーマとしては設定しない。	
	(海外) 工程での環境負荷化学物質使用量原単位前年度比1%削減	(海外) 工程での環境負荷化学物質使用量原単位前年度比1%以上削減となった。	○	重点取り組みテーマとしては設定しない。	
【4】省資源・資源循環	(1)廃棄物に関する取組み	廃棄物排出量原単位2007年度比28%削減	○	2016-2018年度の廃棄物排出量平均を実質生産高単年度で3%改善(2011-2015年度平均比)	2016年度の廃棄物排出量を実質生産高単年度で1%改善[2011-2015年度平均比]
	(2)容器包装における取組み	包装資材の改善による環境負荷の低減	○	重点取り組みテーマとしては設定しない。	
	(3)生産工程における取組み	原材料ロス率の低減	○	重点取り組みテーマとしては設定しない。	
	(3)水に関する取組み			重点取り組みテーマとしては設定しない。	
【5】生物多様性	生物多様性に関する従業員教育の継続実施	新入社員および中途入社者を対象とした教育の資料に、生物多様性に関する項目を盛り込み教育を実施した。	○	重点取り組みテーマとしては設定しない。	
	生物多様性をテーマとした小中学生向け環境学習の実施	ムラタの森活動において、森を題材とした木々と人との関わりについての教育を実施した。	○	重点取り組みテーマとしては設定しない。	
【6】環境社会貢献活動	環境社会貢献活動の継続実施	地域、社会に密着した事業経営を実現するため、小中学生向け環境学習の実施やムラタの森と題した里山保全活動、事業所緑化活動などを継続的に実施した。	○	重点取り組みテーマとしては設定しない。	

■ 2015年度の社会性目標に対する実績、および2016年度～2018年度中期目標と2016年度の目標

○:達成 △:ほぼ達成 ×:未達成

項目	2015年度目標	2015年度実績	評価	2016年度～2018年度中期目標	2016年度目標
【1】内部統制システム	継続して内部統制の整備を進めることで、法令、定款、社内規定等への適合において重大な問題の発生件数ゼロ件を達成する。	継続して内部統制整備を進め、法令、定款、社内規定等への適合において重大な問題の発生件数ゼロ件を達成した。	○	重点取り組みテーマとしては設定しない。	継続して内部統制の整備を進めることで、法令、定款、社内規定等への適合において重大な問題の発生件数ゼロ件を達成する。
	グローバル化に対応して効率的な監査を実施し、新設拠点・M&A会社への内部統制の拡大を進める。	事業部(2部門)を新たに内部統制整備の対象に加え、継続して内部統制整備の対象範囲拡大に取り組んだ。新設拠点・M&A会社への内部統制整備拡大については、昨年整備対象点に加えた海外2拠点のフォローアップ監査を実施した。	△	重点取り組みテーマとしては設定しない。	
【2】コンプライアンスの推進	コンプライアンス意識の浸透 ・コンプライアンス推進活動に関する定期的な情報発信の継続(12回/年) ・コンプライアンス確認テスト・アンケートの実施	コンプライアンス意識の浸透 ・コンプライアンス知識に関するメールマガジンを毎月1回(12回/年)発行した。 ・10月を強化月間とし、当社および関係会社において、コンプライアンス確認テスト・アンケートを実施した。	○	重点取り組みテーマとしては設定しない。	
	コンプライアンス教育の充実 ・ケースメソッド等を用いたグループ討議の実施	コンプライアンス教育の充実 ・当社および国内関係会社の各職場において、倫理的ジレンマを含む判断の難しい事例を用いたグループ討議を実施した。	○	重点取り組みテーマとしては設定しない。	
【3】リスクマネジメントの強化	多岐にわたるグローバルなリスクに対応するため、既存のリスク対策の有効性を検証するとともに、継続的な改善を行う。 ・新たに出現するリスクをタイムリーに認識し、リスクの評価から対策の立案、実施までのサイクルを迅速・確実に機能させる。	リスクオーナーであるコーポレートスタッフ部門を中心に、国内・海外におけるさまざまなリスク要因とそれらの対策を定期的にチェックし、リスクの具現化防止と発生時の損失極小化の有効性を検証した。	○	重点取り組みテーマとしては設定しない。	
	子ども向けの理科教育や環境教育を通して、未来を担う人材の育成支援を継続して行う。 ・事業所の緑化、森林保全など、近隣社会に根ざした地域貢献活動を継続的に実施する。	子ども向けの理科教育や環境教育、事業所の緑化や近隣の森林保全活動を国内事業所のみならず海外事業所にも順次拡大し、グローバルレベルの社会地域貢献活動を継続して実施した。	○	重点取り組みテーマとしては設定しない。	
【4】社会と地域への責任と行動	「紛争鉱物問題」への対応として、業界団体との連携を密にし、仕入先様とともに紛争鉱物情報(精錬業者情報)の調査を行い、よりリスクの少ない部材を使用する努力を継続する。	継続して製錬業者情報の調査を実施し、一部の製品を除き調査を完了した。	○	重点取り組みテーマとしては設定しない。	
	仕入先様のCSR遵守状況を定期的に確認する仕組みを構築することで、変化する社会情勢や得意先様の要求に対応したCSR調達の実践を図る。	仕入先様に対してCSR遵守状況を確認するための調査を実施した。	○	重点取り組みテーマとしては設定しない。	
【5】仕入先様への責任と行動	災害発生時に参照する資材生産場所情報をタイムリーに更新することで、精度の高い情報に基づいた有難の対応を行う。また情報収集の仕組みをシステム化することで調査効率の向上と対応機関の短縮を図る。	資材生産場所情報の調査と更新を継続的に行った。情報収集のシステム化について導入準備を完了した。	○	重点取り組みテーマとしては設定しない。	
	「適性に応じたキャリアを選択できる制度の移行 キャリア形成プログラムによる異動の実践 ・女性の活躍、キャリアに関する社内講演会の開催 ・シニア層の活躍支援 キャリアマネジメント研修会の実施 2015年度8回	・キャリア自律に関する講演会を開催した。 ・キャリアマネジメント研修会を8回実施した。	○	重点取り組みテーマとしては設定しない。	
【6】従業員への責任と行動	ハラスメント防止のための啓蒙・教育の継続 セクハラ・パワハラ研修未受講役職者全員に対して、2015年度4回実施。 ・人権教育の継続 階層教育として年1回実施	・セクハラ・パワハラ研修未受講役職者に対して、2回の研修を実施した。 人権教育を階層教育として1回実施した。	○	重点取り組みテーマとしては設定しない。	
	「仕事と家庭の両立支援制度(ワークライフバランス)の充実・定着化 従業員子ども参観日の開催 1回	・従業員子どもを対象にした子ども参観「ムラタキッズ・お仕事体験」を開催した	○	重点取り組みテーマとしては設定しない。	
【5】生物多様性	経営理念の浸透・共有策の推進 理念共有ワークショップの実施 30回 ・外国人採用の継続 新卒入社者:5名 ・外国人入社者受け入れ推進 2015年度 20人 ・グローバル化教育の実施(英語力、中国語力強化) 英語強化研修、中国語強化研修 各1セット実施	・理念共有ワークショップの実施 ・役員による理念対話会 13回 ・海外関係会社社員向けワークショップ 4回 ・新人・過卒向け研修 3回 ・他、各拠点・部門での実施 ・外国人採用の継続:新卒入社者4名 ・外国人入社者受け入れ人数:20名 2015年度末の在籍外国人入社者数:45名 ・国内英語力強化研修を実施した。(トータル受講人数190名)	○	重点取り組みテーマとしては設定しない。	
	労働災害の発生を防止するための取組みを継続・推進する。 ・労働安全衛生マネジメントシステムの構築 OHSAS18001外部認証取得:1事業所、維持:27事業所 ・安全衛生教育の推進 下記のとおり、従業員への安全衛生教育を推進した。 リスクアセスメント教育 30回 KYT教育 5回	・新たに特別委員会を組織し、労働災害発生防止の取り組みを強化した。 ・下記の通り、労働安全衛生マネジメントシステムの構築を推進した。 OHSAS18001外部認証取得:1事業所、維持:27事業所 ・下記のとおり、従業員への安全衛生教育を推進した。 リスクアセスメント教育:46回開催 KYT教育:18回開催	○	重点取り組みテーマとしては設定しない。	

ムラタのCSRに寄せて

ムラタは今年度から中期経営計画とあわせて、CSR中期目標を策定されました。環境の計画もそれにあわせて3年単位とされました。これは、企業経営とCSRおよび環境活動をより密接に連動させるという意味で、大変重要なことと思います。CSRの究極の目標は、企業と社会の持続的な発展ですので、CSRや環境の活動を企業経営の中心的課題と接合することがどうしても必要になります。

CSRの課題は数多くありますが、ダイバーシティを含めた企業の中での働きやすさはその中でも特に重要なものです。ムラタでは女性の活躍推進に積極的に取り組んでおられるようですので、将来的には、何らかの具体的な目標を設定されることも検討課題になると思います。また、グローバルローテーションも非常に重要な制度で、世界的な技術伝承はグローバル企業としての大きな責務でもあります。海外でのステークホルダーダイアログなども取り入れられると、活動がより具体的に伝わると思います。

ムラタの報告書は会社案内とCSR報告書の一体型ですが、世界的には、アニュアルレポートとCSR報告書を一体化した統合報告書が増加傾向にあります。売上高を急速に伸ばされて世界的なプレゼンスを大幅に高めてこられたムラタとしては、この機会に統合報告書への発展をお考えになられてはどうか？統合報告を採用されれば、ムラタのビジネスモデルを使って、社会に対してどのような価値を創造することができるのかを示すことができますので、CSR情報開示としてメリットがあるだけでなく、経営戦略策定にも好影響をもたらすと思います。

CSRの世界では、マテリアリティ(重要性)の特定による、プライオリティの設定が世界的に注目されています。幅広い事項を満遍なく実行するだけでなく、特定の事項に特化した取り組みも重視されています。そのためには、ベンチマーク型管理とアクションプラン型管理のバランスを取られることが必要と思います。日本企業はアクションプランを強く好む傾向にありますが、すべての事項を毎年改善していくことは必ずしも現実的ではありません。ベンチマーク型管理にして質の向上を目指すことも重要と思います。



神戸大学大学院
経営学研究科 教授
國部 克彦氏

Profile

国内外拠点一覧

[国内拠点一覧]

村田製作所 / 本社・支社・事業所・営業所	
本 社	株式会社村田製作所
支 社	東京支社
事業所	横浜事業所 / 野洲事業所 / 八日市事業所 / 長岡事業所
営業所	仙台 / 水戸 / さいたま / 東京 / 立川 / 浜松 / 名古屋 / 安曇野 / 京都 / 神戸 / 岡山 / 福岡

国内関係会社

株式会社福井村田製作所	株式会社大垣村田製作所	
株式会社出雲村田製作所	株式会社アスワ村田製作所	
株式会社富山村田製作所	株式会社穴水村田製作所	
株式会社小松村田製作所	村田土地建物株式会社	
株式会社金沢村田製作所	株式会社ムラタ栄興	
株式会社岡山村田製作所	株式会社ムラタアクティブパートナー	
株式会社金津村田製作所	株式会社ムラタエレクトロニクス	
株式会社鯖江村田製作所	ムラタソフトウェア株式会社	
株式会社イワミ村田製作所	ムラタ分析パートナー株式会社	
株式会社ハウイ村田製作所	東京電波株式会社	
株式会社氷見村田製作所	東光株式会社	他
株式会社アズミ村田製作所		
株式会社小諸村田製作所		
株式会社ワクラ村田製作所		
株式会社登米村田製作所		

東光株式会社は、東光株式会社を含め国内に3社、海外に22社のグループ会社を展開しています。

[海外拠点一覧]

North & South America 南北アメリカ	
U.S.A.	Murata Electronics North America, Inc. Murata Power Solutions, Inc. Peregrine Semiconductor Corp.
Canada	Murata Power Solutions (Toronto) ULC
Mexico	Murata Electronics Trading Mexico, S.A. de C.V.
Brazil	Murata World Comercial Ltda. 他

Europe ヨーロッパ

Netherlands	Murata Electronics Europe B.V.
Germany	Murata Elektronik GmbH
U.K.	Murata Power Solutions (Milton Keynes) Limited Murata Power Solutions (Celab) Limited Peregrine Semiconductor UK Ltd
France	Murata Electronique SAS Peregrine Semiconductor Europe
Finland	Murata Electronics Oy 他

上記以外にイギリス、イタリア、スペイン、ハンガリー、スイスにセールスオフィスを設置しています。

Asia アジア

China	村田 (中国) 投資有限公司 (Murata (China) Investment Co., Ltd.) 無錫村田電子有限公司 (Wuxi Murata Electronics Co., Ltd.) 深圳村田科技有限公司 (Shenzhen Murata Technology Co., Ltd.) 村田電子貿易 (天津) 有限公司 (Murata Electronics Trading (Tianjin) Co., Ltd.) 村田電子貿易 (上海) 有限公司 (Murata Electronics Trading (Shanghai) Co., Ltd.) 村田電子貿易 (深圳) 有限公司 (Murata Electronics Trading (Shenzhen) Co., Ltd.) 賽芯電子技術 (上海) 有限公司 (SyChip Electronic Technology (Shanghai) Ltd.) 村田電源技術 (上海) 有限公司 (Murata Power Solutions (Shanghai) Co., Ltd.) 佛山村田五鈹精密材料有限公司 (Foshan Murata Minmetals Materials Co., Ltd.) 東莞村田電子有限公司 (Dongguan Murata Electronics Co., Ltd.)
Hong Kong	村田有限公司 (Murata Company Limited) Murata Power Solutions (Hong Kong) Limited
Taiwan	台湾村田股份有限公司 (Taiwan Murata Electronics Co., Ltd.)
Korea	韓国村田電子株式会社 (Korea Murata Electronics Company, Limited)
Singapore	Murata Electronics Singapore (Pte.) Ltd.
Thailand	Murata Electronics (Thailand) , Ltd. Thai Murata Electronics Trading, Ltd.
Malaysia	Murata Electronics (Malaysia) Sdn. Bhd.
Philippines	Murata Electronics Philippines Inc. Philippine Manufacturing Co. of Murata, Inc.
India	Murata Electronics (India) Private Limited
Vietnam	Murata Electronics (Vietnam) Co., Ltd. 他



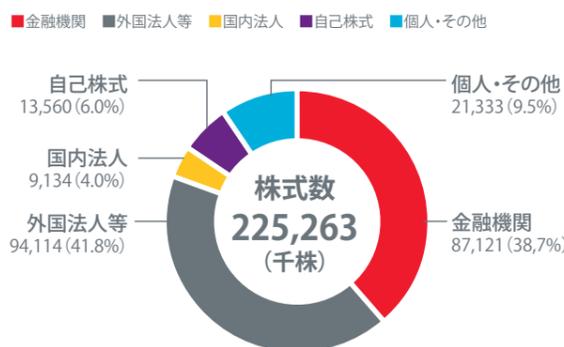
役員一覧 平成28年7月1日現在

取締役	代表取締役社長	村田 恒夫
	代表取締役副社長	藤田 能孝
	取締役	井上 亨
		中島 規巨
		岩坪 浩
		竹村 善人
		石野 聡
		重松 崇 (社外取締役)
	取締役 監査等委員	田中 純一
		吉原 寛章 (社外取締役)
豊田 正和 (社外取締役)		
上野 宏 (社外取締役)		
執行役員	常務執行役員	井上 亨
	中島 規巨	
	小島 祐一	
	藺田 聡	
	岩坪 浩	
	上席執行役員	竹村 善人
	石野 聡	
	石谷 昌弘	
	水野 健一	
	執行役員	鴻池 健弘
丸山 英毅		
多田 裕		
フェロー 執行役員	酒井 範夫	
	宮本 隆二	
	鱈谷 佳和	
	岩井 清	
	佐々木 俊和	
	早川 悦生	
	大森 長門	
利根川 謙		

株式の状況 平成28年3月31日現在

株式事項 当期末発行済株式総数 225,263千株
当期末株主数 55,589名

所有者別分布状況(千株)



株式上場 [国内] 東京証券取引所 市場第一部
[海外] シンガポール証券取引所

大株主の状況 平成28年3月31日現在

株主名	持株数(千株)	持株比率 (%)
JP MORGAN CHASE BANK 380055	15,526	7.3
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	12,082	5.7
日本生命保険相互会社	7,361	3.5
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	6,801	3.2
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	6,710	3.2
株式会社京都銀行	5,260	2.5
明治安田生命保険相互会社	5,240	2.5
株式会社滋賀銀行	3,551	1.7
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	3,350	1.6
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	3,014	1.4

(注)持株比率は、発行済株式の総数から自己株式(13,560千株)を除いて計算しております。

エミフィル、セラロック、イオニシモは、株式会社村田製作所の登録商標または商標です。

muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS



このパンフレットは
環境に配慮し、植物
油インキを使用し
ています。



www.murata.com

Printed in Japan '16/6/35.5K